

令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト交通空白解消のための調査業務委託
裾野市交通空白解消のための調査業務報告書
ワークショップ・実証計画案

ワークショップの全体像

地域の交通課題を住民の皆さまと共有し、移動に関する将来の不安や困りごとを明らかにしたうえで、その解消に向けた公共交通サービスの方向性を検討するワークショップを実施。

1日目：9月17日（水）

移動の困りごとの具体化

ゴール

- 将来の不安も含めた移動の困りごとを共有し、各地域における移動の課題を明らかにすること

主な論点

- ✓ 地域の交通課題は何か？
- ✓ どのような暮らしを実現したいか？

本取組の流れ

講義①・②
裾野市における
人流データ分析結果・住民アンケート結果説明

個人ワーク①
移動に関する現状/将来の困りごとを記載

グループワーク①
日常生活での移動の困りごとの共有
日常の移動にどのような課題があるかの検討

2日目：10月6日（月）

困りごと解消に向けた検討

- 課題をもとに、暮らしを支える公共交通のあり方や具体的なサービス要件が整理されていること

- ✓ 移動を通じて暮らしをどのように支えられるか？
- ✓ 求められるサービス要件は？

講義③
1日目の課題まとめ＋
課題解決に繋がる導入事例・交通サービス案の紹介

個人ワーク②
各課題に対する交通サービス案・要件の洗い出し

グループワーク②
移動の困りごとをどのように解決していくか
どのようなサービスがあれば暮らしやすくなるかの検討

WS①の取組概要

裾野市の公共交通の現状および裾野地域住民の生活圏分析レポートをもとに、個人→グループワークを通じて、住民が暮らしの中で困っていることを検討。

参加者の皆さんに検討・議論いただく時間

講義・事前説明

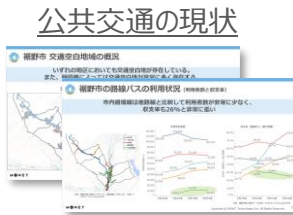
個人ワーク

グループワーク

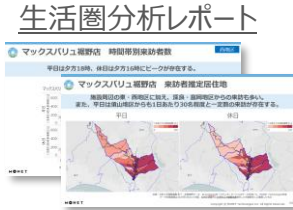
発表・共有

講義

- ① 裾野市の公共交通の現状・課題を理解 (15分)



- ② 住民の生活環境を生活圏分析レポートを通じて理解 (60分)



- ③ ワークショップの流れ・インプット情報の共有 (15分)



- ④ 個人ワークにより裾野地域住民の困りごとを検討 (20分)

ワークシート (例)

ワークシート①: 現状/将来の交通課題検討

| 困りごと概要 | 困りごとの具体化 |
|---|--|
| <p>ペルソナ: 市外の高校に通う高校生</p> <p>時間帯: タカ17時</p> <p>移動目的: 通学</p> <p>移動ルート: 自宅→岩倉駅→●高校(市外)</p> <p>場所: 呼子地区 (▲バス停から▲km)</p> <p>困りごと: 学校帰りに岩倉駅からバスがなく、駅まで徒歩で帰らなければならない。帰りのバスを待つ時間が長くて苦痛。</p> | <p>交は仕事で送迎に行けなため、バスの母親に迎えに来てもらっている</p> <p>バスが、テストとか午前帰校とかだとすた方まで待たないといけない</p> <p>自宅付近にバス停を作って、毎朝朝の通学時間だけでも運行してほしいが、採算が合わないから</p> <p>本日は、経験者が自宅付近までの送迎サービス (オンデマンドバス等) があれば、一番助かる</p> <p>朝の通学時間も送迎して欲しいと、他の負担も減らしてほしい</p> |

- ⑤ 個人毎の困りごとの共有とグループディスカッションを通じて集約した困りごとについて、「なぜ困りごとが発生するのか」等の5W1Hの観点で深掘り (60分)

模造紙 (例)

グループA: ●●地区

現状/将来の交通課題

ステークホルダー観点

例) 収支率低下や利用者数減少に伴い、すぞーる廃止を望んだ

例) 子供の送迎・学生の通学

例) 日常の買い物・通院

- ⑥ グループ毎に、他グループに対して深掘りした住民の困りごとを発表し、全体に共有 (トータルで20分)



ワークショップの事前説明

WS②の取組概要

他地域の事例や裾野地域の交通課題をもとに、個人ワーク・グループワークを通じて、交通サービス案とその実現ハードルを検討・評価。

参加者の皆さんに検討・議論いただく時間

講義・事前説明

個人ワークⅠ

グループワーク

個人ワークⅡ

発表・共有

- ①「交通空白」の解消に向けた公共交通サービス事例を理解 (35分)

他地域の事例



- ②ワークショップの流れ・インプット情報の共有 (20分)

交通サービス仮説



- ③個人ワークにより裾野地域に導入すべき交通サービス案を検討 (15分)

ワークシート (例)

| | |
|------------------------|---|
| サービス案 須山地区のオンデマンドバス | サービス概要 ・須山から裾野市街地まで1台のデマンドバスで運行 |
| ペルソナ 高校生 | サービス要件 |
| 利用ルート | 利用条件/料金イメージ ・専用アプリで予約した予約料金は、通常より高専でバス〜タクシーの中間の価格設定 |
| 移動目的 通学 | 運行時期・曜日 平日 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 休日 ・通学利用が見込まれる平日の朝夕に運行 |

- ④各自で検討した交通サービス案をグループで共有し、議論を通じて具体化 (=サービス要件の検討)する案を選定し、グループワークを通じて検討 (50分)

模造紙 (例)

| | |
|-------------------|----------------|
| 地図 (A4サイズ) | ... |
| サービス案・要件 (A3サイズ) | ... |
| 実現ハードル (例: ストアット) | 例) システムコストが分かる |

- ⑤別グループ作成のアウトプットを確認し、感想も含めた意見出しを実施 (10分)



- ⑥グループ毎に、他グループに対して深掘りした交通サービス案とその実現ハードルを発表し、全体に共有 (トータルで15分)



講義

ワークショップの事前説明

各地区のニーズ・課題まとめ

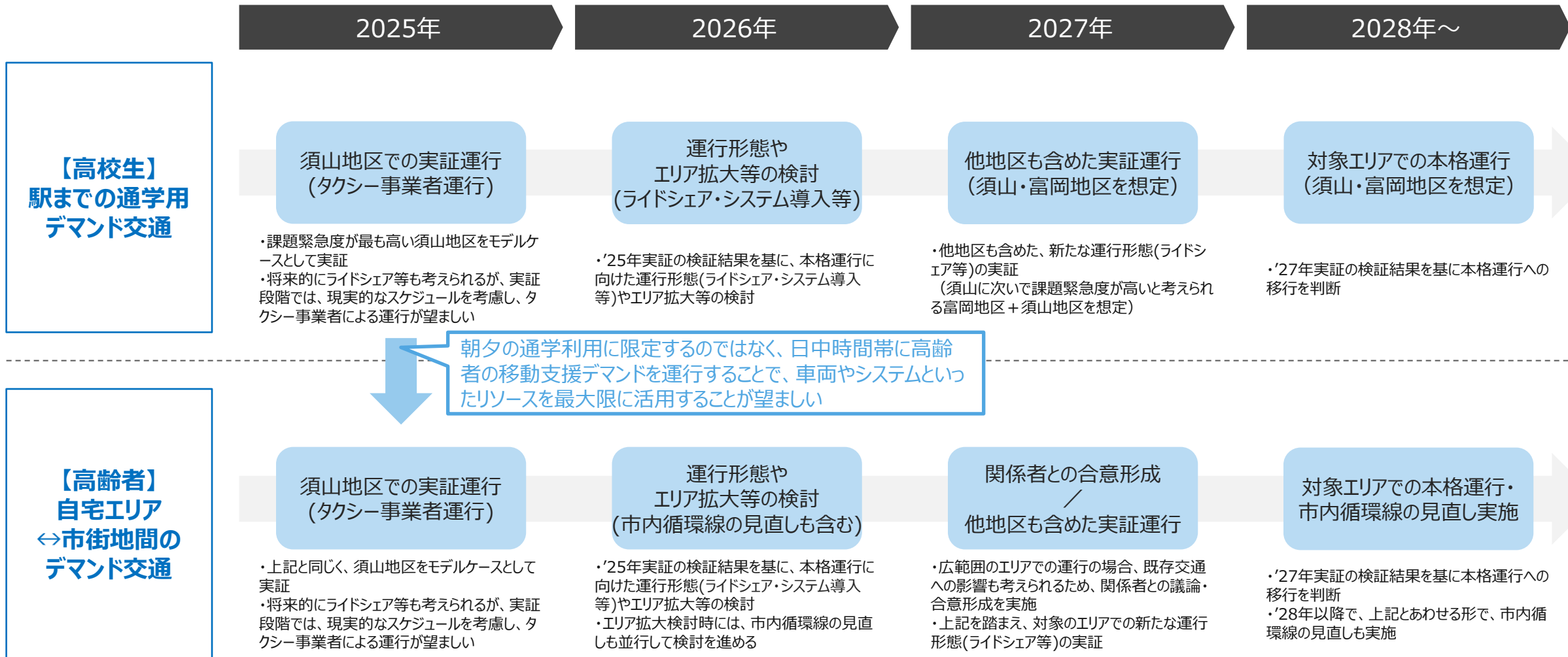
| | 人口 (高齢化率) | 移動需要 (※データ分析の結果や、WSでの住民意見をもとに記載) | 公共交通の現状・移動に関する課題 |
|------|--------------------|--|--|
| 須山地区 | 2,260 (38.54%) | <ul style="list-style-type: none"> 【買い物】 富岡・深良・西地区や、市外(特に御殿場市)へ移動 【通院】 地区内に診療所がなく他地区や市外(特に御殿場市)へ移動 【通学】 市外の高校への通学のため岩波駅へ移動 【通勤】 地区内の移動が多い | <ul style="list-style-type: none"> 裾野駅方面には須山線が通っているが、運行本数が少なく(1日6便)、終バスも早い(須山方面の最終は16:50発) 岩波駅方面には直通のバスがなく、徒歩・自転車移動は困難 |
| 富岡地区 | 11,568 (31.15%) | <ul style="list-style-type: none"> 【買い物】 地区内や深良・西地区、市外(南部の近隣市町村)へ移動 【通院】 地区内や西地区、市外(御殿場市等)へ移動 【通学】 市外の高校への通学のため岩波駅・裾野駅へ移動 【通勤】 地区内の移動が多い | <ul style="list-style-type: none"> 裾野駅方面には須山線が通っているが、運行本数がやや少なく(1時間に1本程度)、カバーされていないエリアあり(千福が丘等) 上記エリアの一部に東西線が通っているが、運行本数が少ない(月火木/1日6便) 岩波駅方面には直通のバスがなく、徒歩・自転車移動はやや困難 場所によっては最寄りのバス停まで2km前後歩く必要あり |
| 深良地区 | 4,926 (35.53%) | <ul style="list-style-type: none"> 【買い物】 地区内や西地区、市外(南部の近隣市町村)へ移動 【通院】 地区内や市外(御殿場市・長泉町等)へ移動 【通学】 市外の高校への通学のため岩波駅へ移動 【通勤】 地区内や市外(御殿場市・長泉町等)へ移動 | <ul style="list-style-type: none"> 裾野駅方面、岩波駅方面には三島線(1日6便)・南北線(水金/1日6便)が通っているが、運行本数が少ない 場所によっては最寄りのバス停まで2km前後歩く必要あり |
| 西地区 | 15,405 (23.82%) | <ul style="list-style-type: none"> 【買い物】 地区内や東地区、市外(南部の近隣市町村)へ移動 【通院】 地区内や市外(南部の近隣市町村)へ移動 【通学】 市外の高校への通学のため裾野駅へ移動 【通勤】 富岡地区や市外(南部の近隣市町村等)へ移動 | <ul style="list-style-type: none"> 裾野駅方面には、南北線(水金/1日6便)のみで運行本数が少なく、公共交通では移動しづらい地域がある 裾野駅方面には桜堤線・須山線が通っているが、運行本数がやや少ない(1時間に1本程度) 場所によっては最寄りのバス停まで2km前後歩く必要あり |
| 東地区 | 13,411 (31.71%) | <ul style="list-style-type: none"> 【買い物】 地区内や西地区、市外(南部の近隣市町村)へ移動 【通院】 地区内や西地区、市外(南部の近隣市町村)へ移動 【通学】 市外の高校への通学のため裾野駅へ移動 【通勤】 地区内や市外(御殿場市等)へ移動 | <ul style="list-style-type: none"> 裾野駅方面には、東西線(月火木/1日6便)のみで運行本数が少なく、公共交通では移動しづらい地域がある 裾野駅方面には桜堤線・須山線が通っているが、運行本数がやや少ない(1時間に1本程度) 場所によっては最寄りのバス停まで2km前後歩く必要あり |

各地区の方向性（案）

| | 主課題 | 【評価軸①】課題緊急度 | 方向性（案） | 【評価軸②】取組インパクト | 優先度 |
|------|---|---|------------------------------|---|-----|
| 須山地区 | 【高校生】 通学時に自宅⇔駅の移動手段がない（特に岩波駅） | 高校生が現状困っている深刻度大の課題（須山からの徒歩/自転車移動は困難） | 駅までの通学用デマンド交通（ライドシェア型含む） | <ul style="list-style-type: none"> 移動困難な時間帯/場所の課題解消に直結し、利便性の大幅向上が見込まれる 運行区間や時間帯が限定的なため、コストやリソース面でのハードルは低いと考える | 高 |
| 富岡地区 | 【高校生】 通学時に自宅⇔駅の移動手段がない（特に岩波駅） | 高校生が現状困っている課題だが、須山と比較すると岩波駅に距離的に近いいため、上記課題の方が最優先か | | | 中 |
| 全5地区 | 【高齢者】 市街地の商業施設や病院へ移動する際に、バスの時間帯が合わない/バス停まで歩くのが困難 | 現状は自家用車移動が殆どで、アンケートでもひとりで何とかできる人が多いが、免許返納後に発生する将来の大きな課題 ※上記課題の方が最優先か | 自宅エリア⇔市街地間のデマンド交通（ライドシェア型含む） | <ul style="list-style-type: none"> 移動困難な高齢者の市街地へのアクセスの大幅改善が見込まれる 広範囲での運行となる場合は、コストや体制、既存交通への影響等を考慮する必要 | 中 |
| | | | 各地区⇔特定施設間の定時定路線バス（小型車両で運行） | <ul style="list-style-type: none"> 時間に合わせて地域ごとに集まるのは住民の負荷が高い可能性 車両を小型化しても、需給バランスの面で効率的な運行は課題 | 低 |
| | | | 医療MaaS導入 | <ul style="list-style-type: none"> 病院との調整コスト大 そもそもへき地ではないため医療MaaSがあまり適合しない可能性 | 低 |

ロードマップ案

前頁で整理した優先度や実証の効率の観点から踏まえ、まずは今年度、「須山地区における、駅までの通学用デマンド及び自宅エリア⇔市街地間のデマンド」の実証運行を推進することが望ましい。



'25年度実証計画案

須山地区にて「駅までの通学支援」、「自宅エリア↔市街地間」を目的にデマンドの運行実証を推進。
全5地区では、'26年度以降の運行化を視野に、各ステークホルダーを巻き込んで検討を実施。

